

11月1日 住民投票

大阪市の力活かしてこそと 寄せられるコメント

(50音順)



「ふ」を「と」に変えるのは将棋だけに

桂文福さん 上方落語協会理事・落語家

私は、和歌山出身、奈良県の生駒在住なので投票権はおまへんが、繁昌亭など大阪で働かせてもらい、ミナミやキタの浪花の人情、商都、笑都ええ街でつせ。

「ふ」を「と」に変えるのは「将棋」だけにしなはれ!!



大阪市は市民の宝

小西禎一さん 元大阪府副知事

大阪市は130年市民の生活を守り、大阪の文化を育みながら市民とともに歩んできました。

大阪市は市民の大重要な宝です。なくしてはいけません。東京の真似しても東京にはなりません。市民の貴重な権限、財源、公園・水道などの財産を失い、負担はそのまま。こんな馬鹿げた話はありません。大阪市の力と区域を4つに分割することはコロナ対策や防災対策を難しくするだけです。政令指定都市の権限、財源を市民のために活かしましょう！



連携協力のルールをつくればいい

中西正人さん 元大阪府教育長

特別区制度は大阪にはなじみません。東京とは基本的条件がまったく違いますし、特別区は固定資産税などの税を徴収することもできません。

二重行政の解消と言うなら、施設建設のルールづくりなど連携協力の仕組みをつくればいいことで、大阪市をなくしてしまうというのは市町村の権限を強める地方自治の流れとも逆行します。

今、コロナ禍での大阪市の廃止はとんでもない話で、いったんつぶして戻せる話ではありません。



国に先駆けてきた歴史をつぶさんとて

平松邦夫さん 第18代大阪市長

単にノスタルジーで残せとは言ってないです。130年を越える歴史をみれば、住み、暮らす人を守るために、健康や環境問題を国に先駆け、引っ張ってきた都市の歴史があります。そこには多くの市民の積極的な関わりがあり、「おせっかい」な気質と相まって、絶妙なバランスがありました。大阪市を消滅させることができが一丁目一番地という人たちにこの町を潰させたくありません。「ようわからんなあ」という人には「大阪市」を残してから問題点を考えよう伝えたいですね。



市民の生活を守るために

宮本亜紀さん 弁護士

大阪市を無くして、政令指定都市から特別区に「格下げ」は、絶対反対です。道路や公園や再開発の都市計画、消防、水道などは大阪府に権限が移ると、住民の要望が届かなくなります。私が弁護士として関わった一人親家庭や高齢者、中小企業経営者などは、経済的に厳しい方が多く、大阪市独自の住民サービスや経済対策ができなくなれば、ますます困難になるでしょう。大阪市民の生活を守り、今後より良くするためにも、「大阪市」を守りたいです。

日刊
vol.11
つくづく未来
OSAKA CITY



「大阪市をよくする会」機関紙

2020年10月27日 第446号

大阪市をよくする会の見解をお知らせします

大阪市をよくする会は、大商連、大阪労連、民医連、新婦人、共産党、障連協、大生連、大借連、民青、民権連、年金者組合などで構成されています。

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階

TEL(06)6809-1553 FAX(06)6357-5303

HP : <http://www.yokusurukai.com> Mail : yokusurukai@nifty.com

都構想
特設サイト



<https://thinktokousou.jp/>

毎日、新しいニュースを

お届けしています